

平成18年度第2回評議会議事録

日時：平成18年5月23日(火) 17:06～21:37

会場：千代田区大手町1-6-1 JPF

ただし、Ⅲ. 議事のうち2、3の審議（これらの審議にあたって予め申請団体の説明を受ける場合を除く。）にあたって、評議員（NGOユニット枠を除く）、アドバイザー及び事務局員は大手町ビル6階の670区C会議室に移動した。また、Ⅲ. 議事のうち11. の協議にあたって、評議員（NGOユニット枠を含む）、アドバイザー及び事務局員は大手町ビル6階の670区C会議室に移動した。

出席：評議員

外務省	: 上村 司（Ⅲ. 議事のうち3. から出席） 城守 茂美（上村評議員出席まで代理）
経団連	: 林 寛爾
三菱財団	: 石崎 登
学識経験者	: 中村 安秀（Ⅲ. 議事のうち1. から出席）
PWJ	: 大西 健丞（NGOユニット枠）（Ⅲ. 議事のうち1. から出席）
AAR	: 堀江 良彰（NGOユニット枠）

評議会アドバイザー

前評議会議長	: 長 有紀枝（Ⅲ. 議事のうち2. から出席）
日本経済新聞社	: 原田 勝広
社会貢献担当者懇談会	: 日比野 亨
広島県	: 出原 充浩

評議会ゲスト

学生ネット	: 石川 光
-------	--------

オブザーバー

外務省	: 町田
学生ネット	: 石川(晴)
AAR	: 坪井
CARE	: 村松
HFHJ	: 塚本
HiN	: 渡部、榎本、原田
ICA	: 田中
JADE	: 田中、細井
JAR	: 石川
JCCP	: 茂木、大上
JEN	: 浅川、シ rilル・カップイ、浦

J R C S : 浅沼
K n K : 守谷
N I C C O : 折居
P W J : 金丸、福井
S C J : 田沢、古田
モニタリング派遣員 : 金澤
山陽新聞社 : 名合

事務局 : 高松、寺垣、谷口、菊池、瀧田、大山、田口

座長 : 堀江 良彰

I. 定足数確認

評議員定数6名のうち、出席評議員数4名をもって定足数を確認した。

II. 配布資料確認

1. 事務局：平成18年度第2回J P F評議会次第
2. 事務局：議案1. 平成18年度第1回評議会議事録の承認
3. 事務局：平成18年度第1回評議会議事録（案）
4. 事務局：議案2. パキスタン地震被災者支援（復旧支援）プロジェクトにかかる事業計画の承認
5. H i N : ムザファラバード市郊外の学校を対象とした保健衛生指導事業・こころの健康推進事業計画書
6. J A D E : パキスタン・ムザファラバード市とその周辺部における被災弱者に対する自立とエンパワーメント支援計画書
7. 事務局：議案3. スーダン・ダルフル支援事業（第2期）にかかる事業計画の承認
8. S C J : 第二期 西ダルフル州における緊急水と衛生事業計画書
9. 事務局：議案4. パキスタン地震被災者支援（初動対応ミッション）にかかる事業報告及び収支報告の承認
10. N I C C O : バラコット市周辺におけるシェルター提供事業報告書
11. 事務局：議案5. 助成資格変更申請の承認
12. 事務局：J P Fフォーマル/アソシエイト判定基準に基づくC A R Eの資格に関する事務局審査結果
13. 事務局：外務省供与資金の財務報告・民間資金の財務報告
14. 事務局：パキスタン地震被災者支援の進捗状況資料
15. 事務局：スーダン南部支援調査ミッション経過報告
16. 事務局：事業計画の変更取りまとめ
17. 事務局：メディア報道記事（「産経新聞 2006年5月17日朝刊」、「神戸新聞 2006年5月17日朝刊」、他）
18. 事務局：委員会・研究会への参加状況、助成プログラム申請状況一覧

III. 議事

冒頭、林評議員より社会貢献担当者懇談会森信之氏の後任として日比野亨氏が就任した旨の報告がなされ、これによりアドバイザーの交代が確認された。

1. 平成18年度第1回議事録の承認について

事務局作成により上程された平成18年度第1回議事録（案）を全会一致で承認した。

2. パキスタン地震被災者支援（復旧支援）プロジェクトにかかる事業計画の承認について

- ① H i N : ムザファラバード市郊外の学校を対象とした保健衛生指導事業・こころの健康推進事業（民間資金）

申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。審議の結果、管理費についての整理を事務局が行うこととし、全会一致で承認した。

- ② J A D E : パキスタン・ムザファラバード市とその周辺部における被災弱者に対する自立とエンパワーメント支援（民間資金）

申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされた。審議の結果、事業期間は2ヶ月であることを確認し、管理費についての整理を事務局が行うこととし、全会一致で承認した。

3. スーダン・ダルフル支援事業（第2期）にかかる事業計画の承認について

事務局より当該支援事業（第2期）にかかり、事前に申請団体並びに申請検討団体と外務省を交えた協議を行い、不安定な現地治安状況に鑑み、インフラ整備等、大規模かつ復旧的要素を含む支援を当面は差し控え、人命救助に重点を置くこととした旨の報告がなされた。これに伴い、WV J 当該事業計画（平成17年度第16回評議会で、外務省の承認手続きを経ることを条件として承認）は、内容を変更せずに規模縮小をする方向で調整中である旨の報告がなされた。

- ① S C J : 第二期 西ダルフル州における緊急水と衛生事業（政府資金）

申請団体より配布資料に基づき計画内容の説明がなされ、審議の結果、セーブ・ザ・チルドレン・アライアンス内での本事業におけるS C Jのオーナーシップを明示し、電動ポンプ等の事業内容を事務局と最終調整したうえでの事業計画再提出を求めることとした。

4. パキスタン地震被災者支援（初動対応ミッション）にかかる事業報告及び収支報告の承認について

- ① N I C C O : バラコット市周辺におけるシェルター提供事業（政府資金）

事業実施団体より配布資料に基づき事業報告及び収支報告がなされ、審議の結果、全会一致で本件報告を承認した。

5. 助成資格変更申請の承認について

事務局より配付資料に基づき、本申請に係る書類と内容に不備がないことを確認した旨の報告がなされた。

- ① C A R E : 正会員→アソシエイト会員

申請団体より事前郵送資料に基づき助成資格変更申請の説明がなされた。審議の結果、全会一致で助成資格変更を承認した。

6. 政府支援金及び民間資金の財務状況について

事務局より配布資料に基づき報告がなされた。

7. パキスタン地震被災者支援の進捗状況について

事務局より配付資料に基づき、全てキャンプ・ジャパン被災住民が帰還し4月末をもって終了した旨の報告と当該プロジェクト進捗状況並びに申請検討団体の報告がなされた。林評議員より6月30日に社会貢献推進委員会を中心とするパキスタン地震被災者支援企業に対して経団連に

において報告会を開催する旨の報告がなされた。

金澤専門家より4月15日から23日まで実施したキャンプ・ジャパンのモニタリングにかかる概観説明がなされた。

8. スーダン南部概況について

調査ミッション派遣者のJPF菊池より配布資料に基づき報告がなされた。(報告要旨は下記の通り)

今後の事業形成

- ・ 雨季が終了する10月に難民帰還の増大が想定される。
- ・ 雨季の間に、難民受入れの準備を進める必要がある。
- ・ JPF参加NGOとUNHCRがナイル川東側事業地において連携を結ぶ余地がある旨の確認がなされた。
- ・ JPF参加NGOとWFPがフード・フォー・ワーク、もしくはフード・フォー・トレーニングの事業において連携を結ぶ余地がある旨の確認がなされた。
- ・ JPF参加NGOとJICAが職業訓練事業において連携を結ぶ可能性については、日本国内で再度JICAと連絡をとることとした。

今後の予定

- ・ 5月25日に関心団体との会合
- ・ 5月31日に外務省内報告会
- ・ 6月1日に記者説明会
- ・ 次回評議会に各団体から事業計画の申請提出

9. イラク概況について

JENより映写資料に基づき、イラク概況並びにJEN支援事業の概況報告がなされた。

10. 事業計画の変更取りまとめについて

事務局より配布資料に基づき報告がなされた。

11. ガバナンス改革について

新JPFへの移行手順・スケジュールと新理事候補の応諾状況、新正会員の構成について協議がなされた。

12. メディア報道について

事務局より配布資料に基づき、メディア報道についての報告がなされた。

13. 委員会・研究会への参加状況、助成プログラム申請状況について

事務局より配布資料に基づき、委員会・研究会への参加状況と助成プログラム申請状況の報告がなされた。

14. 学生ネットイベントについて

学生ネット石川(晴)氏より4月29日に「国際協力で活躍する女性たち」イベントを開催した旨の報告がなされた。

15. 広島県からの研修派遣について

堀江評議員より、広島県から事務局へ5月29日から2ヶ月程度、研修出張いただくことの謝辞と、研修出張者である出原氏の紹介がなされた。

16. 次回評議会の開催日時・会場について

平成18年6月27日(火)17:00よりJPF事務局において開催することとした。

以上